

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)		-	-
		スーパー（企画担当）	・キャッシュレス決済還元の影響も落ち着くと考えられる。
		コンビニ（経営者）	・ファーストフード類、おでんなどの売上が伸びる時期なので、販売量や来客数が増加する。
		衣料品専門店（経営者）	・年末に向けて良くなるのではないかとみている。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・消費税増税ショックは徐々に回復傾向が見えてきたが、既存店増加、本土の大手フランチャイズ参入、コンビニなどのイートイン等にみられる飲食の分散化で、集客が難しくなっている。
		住宅販売会社（営業担当）	・住宅展示場への来場組数が5か月ぶりに増加したが、2世帯住宅計画の来場者は5か月連続で増えている。
		コンビニ（代表者）	・増税2週間後くらいから、来客数が以前と比較して鈍ってきている。大きな台風被害等が続いたことによる消費意欲を抑えるような動きを感じている。
		衣料品専門店（経営者）	・今月は消費税の増税などがあったが、客の流れの変化は感じられないが、購買意欲も基本的に感じられない。景気は悪いままである。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・现阶段の予約状況から推測できる今後2～3か月後の客室稼働率見込みは、今月同様に悪い状況である。なかなかこの状況から抜け出せる気配がない。
		旅行代理店（マネージャー）	・年末年始の間合せはあるが、一昔前のように団体で旅行をするような感じではなく、格安航空券を求める個人の客が多い。
		住宅販売会社（代表取締役）	・契約済みの案件は多いが、設計士や現場代理人の不足感があり、着工待ちの案件が多い。
		一般小売店〔菓子〕（企画）	・今日、観光名所が焼失した。これによって今後の観光業への変化が出てくるとみている。
		百貨店（店舗企画）	・これから年末に掛けてお歳暮ギフトの需要が高まる時期となるが、一般のギフト動向も厳しくなっているため、不安は拭えない。
		スーパー（販売企画）	・1月に地域競合店の新規出店予定があり、現在建築中である。それがオープンするとやはり厳しくなると考えられる。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・消費税増税の影響が、年末年始の繁忙期に更に響いてくるのではないかとみられる。
		観光型ホテル（代表取締役）	・韓国人や中国人旅行者の動きや、消費税増税もあり、旅行関連の動きが悪い。
		その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・自然災害の発生により観光、娯楽が今後控えられることが予想される。
		x	商店街（代表者）
企業 動向 関連 (沖縄)		-	-
		*	*
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・特に大きな受注予定はなく、横ばいの見込みである。
		建設業（経営者）	・客との商談のスピードが格段に遅くなって時間が掛かっている。
		輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島はホテル、量販店等の民需や、港湾、庁舎等の官需共に増勢で、宮古島の陸上自衛隊関連の建設工事は隊舎に続いて弾薬庫工事も始まる見込みである。ただしアスファルトの出荷は依然として低迷している。
		輸送業（経営企画室）	・特段変わらずに景気が続くものとみている。消費税増税の影響も今は特段感じられない。
		広告代理店（営業担当）	・県内景気の先行きに不透明感を抱いている企業の販促投資が消極的になりつつあることから、広告宣伝費が増大する可能性は低いと感じている。
		会計事務所（所長）	・今年も前年と同様、週末の台風来襲となるケースが多く、宿泊業は安定した人数が見込めなかった。
	x	食料品製造業（総務）	・価格の値上げによる売上の落ち込みが予想される。
雇用 関連		-	-
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・観光業が好調である。

(沖縄)	求人情報誌製作会社(編集室)	・前年の10～12月の求人件数はほぼ同水準の件数だったので、今年の12月も余り増減がないと推測する。1月に入ると求人意欲が高まり、増加するとみられる。
	職業安定所(職員)	・求人数は毎月、前年同月比でプラスになっている。また、消費税増税が求人数減少に影響しておらず、引き続き県内は人手不足の状況は変わらないと考えられる。
	学校[大学](就職支援担当)	・2021年度新卒採用に向けたインターンシップフェア等のスタートではあるが、その影響は現状と変わらないと考える。
	学校[専門学校](就職担当)	・予想されていた2020年問題が緩やかに表面化してきていて、来年度の就職活動や社会生活に影響が出てくるとみられる。
	x	-